

平成27年度 幼稚園(学校)評価表

学校法人 総純寺学園

記入者:【保護者】

	項目	A	B	C	D
教育方針	学園の教育目標や教育方針は、明確である。(入園説明会や懇談会・クラスだよりなどでわかりやすく伝えている)	84%	16%	0%	0%
	学園の教育方針や教育目標が子どもたちの育ちに活かされている。	89%	12%	0%	0%
指導の状況	園の教育内容・保育内容は、教育目標を生かして作られていると感じる。	95%	5%	0%	0%
	異年齢混合の実践にあたりそれぞれの年齢に応じた教育・保育が行われている。(収穫祭の作品や学年別懇談会等)	89%	11%	0%	0%
	子ども一人ひとりの成長・興味・関心に応じた教育・保育が行われている。	68%	32%	0%	0%
	幼児の教育に、地域の自然や施設を活用している。	68%	21%	11%	0%
教育環境	学園は、保育環境の整備を心がけ、清潔で心地よい生活の場を作り出し、健康と安全に心がけている。	74%	17%	8%	0%
	学園は、幼児にとって必要かつ安全な食材・食環境を整えている。(有機栽培の野菜・無添加調味料・陶食器・木製椀等)	95%	5%	0%	0%
	学園は農園体験など自然との関わりが充実している。	84%	16%	0%	0%
	教職員は、挨拶・礼儀・言葉・生活習慣において子どもの模倣の対象としてふさわしい存在である。	67%	33%	0%	0%
	保育室の教材・遊具が充実している。	79%	21%	0%	0%
	幼稚園は、幼児の動きや目線に配慮した施設構成になっている。	75%	16%	8%	0%
教諭の役割・資質向上	教諭は、幼児の気質や個々の発達を捉え、日々の観察に努め、適切な援助を行っている。	63%	26%	13%	0%
	教諭は、全ての園児に平等にふさわしい言葉遣いができている。	73%	28%	0%	0%
	教諭は、園児の模倣の対象となれるように努めている。	83%	17%	0%	0%
	教諭は、幼児教育者としての専門知識を活かし、かつ、教育の質をあげようと自己教育をしている。	67%	33%	0%	0%
	教職員は、季節に応じた環境の設定を行うべく、日頃からセンスの向上に努めている。	83%	17%	0%	0%
	毎日の保育は安定し、幼児は喜んで登園している。	94%	6%	0%	0%
	教諭は、自らの研究テーマを持ち、発表の場を園内外において設け、学んでいる。	63%	38%	0%	0%

A:優れている B:普通 C:やや努力が必要 D:努力が必要

教育目標

リーベリースタイル教育の理念に基づき

個性を尊重し、自然・芸術教育の中で愛と意志を育てる自由への教育

教育方針

- ・あそびを通して意志を育て、生きる力につなげます。
- ・子どもらしい畏敬と感謝、助け合いの心を育てます。
- ・優しく愛に満ちた保育室は、子どもがすくすく育つ第二の家庭です。
- ・豊かな芸術教育は円満な人格と体力、将来の学習能力の基礎を作ります。
- ・一人ひとりの気質を見極め、その調和をはかり、個性をのびします。
- ・異年齢児が共に生活する縦割り教育を実施しています。これにより、子どもの自立心を高め、社会性を育てると同時に、家庭的な温かさの中で優しい心を育みます。

学校法人 総純寺学園

	項 目	優	普通	やや劣	劣
子育て支援	学園は、子育てについての相談にのっている。	84%	16%	0%	0%
	3歳未満の親子に対しての幼稚園や園庭の開放の機会がある。	90%	10%	0%	0%
	3歳未満の親子に対して、子育てに関する講演会、行事、情報提供等がある。	84%	16%	0%	0%
運営	学園は、園内の施設の安全点検、衛生管理をしっかりと行っている。	53%	24%	24%	0%
	各教職員が学園の組織の中での役割を理解し、任務の遂行・改善に努めている。	74%	27%	0%	0%
	おたよりや教育ノート・ホームページ・フェイスブック等を、活用している。	85%	10%	5%	0%
	学園は、保育参加・懇談会・行事を通して保護者の理解が深められるよう努めている。	100%	0%	0%	0%
	教育講座・勉強会等の機会を持ち、教育の啓蒙に努めている。	89%	12%	0%	0%
地域住民や関係機関との連携・その他	学園は、地域の小学校の行事や公開授業などに参加し、連携を図るよう努めている。	48%	53%	0%	0%
	学園は、地域の小学校との連携を図るために、幼保小連絡協議会を設けている。	74%	27%	0%	0%
	学園は、地域のお祭りや伝統行事に参加したり、地域との連携を目的とした行事の推進をしている。 (星まつりや収穫祭、福祉施設の慰問等)	74%	27%	0%	0%
	学園は、ホームページ・フェイスブック・はがきなどを利用して、行事の案内など園の情報の発信に努めている。	90%	10%	0%	0%
	学園は、省エネルギー、資源再利用の姿勢を持ち評議委員、地域への情報の発信に努めている。	85%	10%	5%	0%

A:優れている B:普通 C:やや努力が必要 D:努力が必要

総合評価 A

地域の自然豊かな環境を保育に活かす努力をすすめる。
乳幼児の動きや目線に配慮した環境づくりを常日頃より意識する努力に努める必要がある。
子ども成長に合わせた教育保育を実践しているのかを見直し、保護者へもわかりやすく伝達していくことが求められる。